



岩上などに着生する。



葉柄から葉身の先端まで 10cm 以下。



裂片の縁には不規則な鋸歯。

区別のポイント

着生する非常に小型のシダ。ホソバコケシノブやキヨスミコケシノブは裂片は全縁。

形態 常緑性の小型のシダ植物。樹幹や岩上に着生する。

分布 本州以南。

名前の由来 高野山の苔のようなシノブ（シダの別名）という意味。

葉 **〈全体〉**葉身は2～3回羽状複葉で暗褐色、長楕円形で長さ4～8 cm、幅1～3 cm。

〈羽片〉。羽軸・小羽軸の翼の幅は広く羽片の切れ込みが浅いため、裂片が重なり合うことがある。裂片の縁には不規則な鋸歯がある。孢子嚢群は裂片の両端に単生し、包膜は二弁状で鋸歯縁。

備考

出典 4, ※